



平成 28 年 6 月 16 日

各位

会 社 名 アンジェス MG株式会社
代 表 者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経営戦略本部長 平崎 誠司
電 話 番 号 03-5730-2641

CIN 治療ワクチンの開発・製造・販売権許諾で森下仁丹と基本合意

当社は、平成 28 年 6 月 16 日に森下仁丹株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：駒村純一、以下「森下仁丹」）との間で、当社が保有する子宮頸部前がん治療ワクチン（CIN 治療ワクチン）の独占的開発・製造・販売権を同社に許諾することで基本合意に達しましたのでお知らせします。

当治療ワクチンは、経口投与で子宮頸部の前がん病変を退縮～消失させ、子宮頸がんへの移行を回避できる世界初の治療ワクチンとして期待されている革新的かつ社会的ニーズも非常に高い医薬品です。当社は韓国の **BioLeaders Corporation**（バイオリーダース）から日本、米国、中国および英国における当治療ワクチンの独占的開発・製造・販売権の許諾を受けています。東京大学大学院医学系研究科産婦人科学講座の川名敬准教授（東京大学医学部附属病院女性外科副科長）と共同研究を行っており、同准教授のグループにより東京大学医学部附属病院において医師主導臨床研究^{*}が実施されています。

今回の基本合意は、当社が許諾を受けている CIN 治療ワクチンの権利の全てを森下仁丹に独占的に再許諾する一方、対価として当社は森下仁丹から契約一時金および商業化時のロイヤリティを受け取る内容です。今後、当社と森下仁丹は今回の基本合意に基づき、早期の正式契約の締結に向けて協議を続けます。

当社は今回の権利許諾により、当社の主力事業である遺伝子治療と核酸医薬を中心とする遺伝子医薬の開発に経営資源をより集中させると同時に、将来、CIN 治療ワクチンの商業化が成功した際にはロイヤリティを受け取ることで当社が保有する権利の価値を最大化できます。

正式な契約の締結に至った際には当社は契約一時金を受領することになりますが、平成

28年12月期連結業績への影響は現在精査中であり、平成28年2月5日発表の業績予想に修正が必要と判断された場合には速やかに発表いたします。

※「HPV16型陽性の子宮頸部中等度上皮内腫瘍性病変(CIN2)に対する乳酸菌を利用したCIN治療薬の探索的臨床研究」(プラセボ対照二重盲検比較試験)。当治療ワクチンの臨床試験を世界で初めて実施した川名敬准教授の下で実施されており、本試験の経費については、同准教授が採択を受けた厚生労働科学研究費補助金(医療技術実用化総合研究事業(臨床研究・治験推進研究事業))が使用されています。

以上

(ご参考)

CIN治療ワクチン

CIN治療ワクチンは、子宮頸がんの原因ウイルスであるヒトパピローマウイルス(HPV)のたんぱく質に対する特異的な細胞性免疫を子宮頸部粘膜へ効率的に誘導します。これにより、子宮頸部の前がん病変を退縮～消失させ、経口投与で子宮頸がんへの移行を回避できる世界初のワクチンとして期待されます。